

11月のDI、現状、先行きとも2カ月連続低下

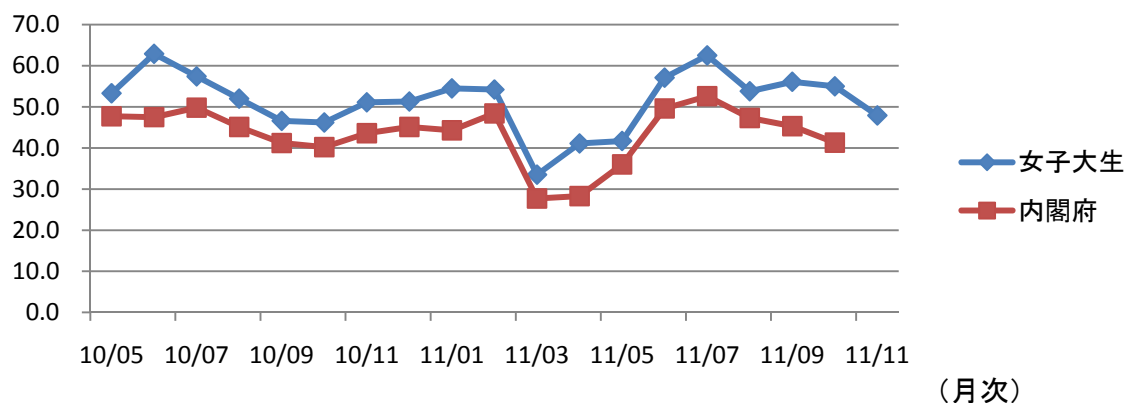
11月の女子大生景気ウォッチャー調査は、景気の現状判断DIが47.9となり、2カ月連続で低下した。先行きDIも前月比で5.8ポイント低下し、52.1となった。

景気が良くなっているという意見の学生は、飲食店で最近予約が増えていることを挙げている。一方、映画館でアルバイトしている学生は、客足が減っているほか、ポップコーンなどの売れ行きも悪いと感じている。

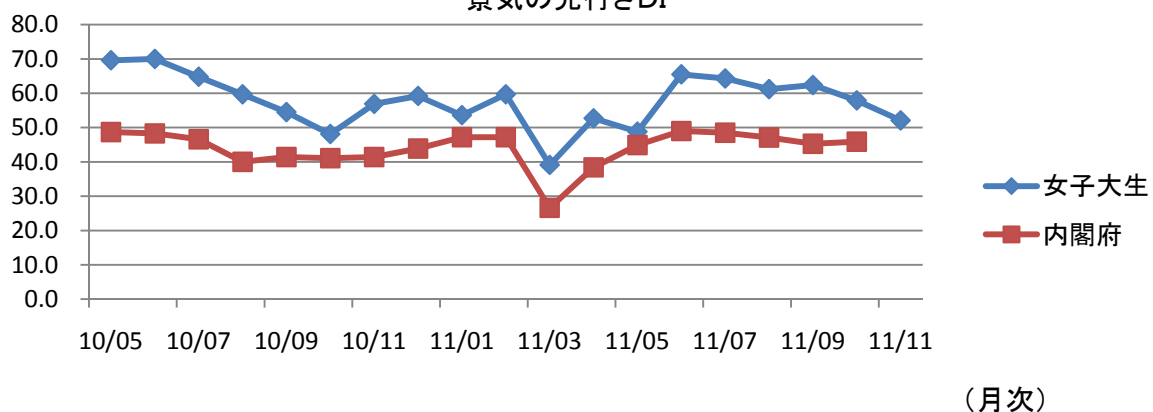
(跡見学園女子大学マネジメント学部教授 山澤成康)

調査日＝11月29日、調査人数＝大学3、4年生12人。

景気の現状DI



景気の先行きDI



景気判断DIは、①良い1点②やや良い0.75点③どちらともいえない0.5点④やや悪い0.25点⑤悪い0点として、それぞれの構成比を乗じて計算する。全員が良いと答えた場合は100、全員が悪いと答えた場合は0となる。